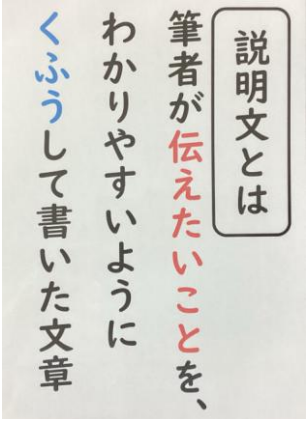
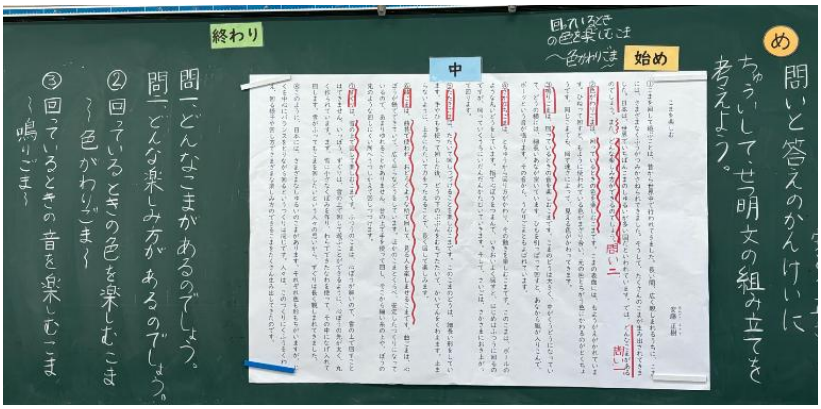
３年　説明文：「こまを楽しむ」～「習得」編～



まず、**説明文とはどのような文章なのかを共通理解しました。**本校では『説明文とは…筆者が伝えたいことを、わかりやすいようにくふうして書いた文章』と定義しており、画像のようなカードをどの教室でも掲示しています。**説明文の定義をはっきりしておくことで、どのような視点を持って説明文を読み進めていけばよいのかがとらえやすい**と考えています。



3	4	5	6	7
音を楽しむこま ～鳴りごま～	動きを楽しむこま ～さか立ちごま～	回しつづけることを楽しむこま ～たたきごま～	見る人を楽しませるこま～曲ごま～	雪の上で楽しむこま ～ずぐり～

次に、説明文の構成をとらえる力を高めることをねらいとして、**「問い―答え」の関係に着目して本文を読み取る活動**に取り組みました。児童は、問いに対する答えがどのように書かれているかを意識しながら読み進めることで、筆者の伝えたいことを的確にとらえる姿がみられました。

また、答えに当たる部分の言葉をもとにして、それぞれのこまのまとまりに見出しをつける活動に取り組みました。児童は**見出しを考える中で本文の要点を整理し、表現を簡潔にまとめる力**を養っていました。特に、「こまの楽しみ方」を短い言葉で的確に表現しようする姿が印象的でした。

この取り組みを通して、説明文の構成に目を向けて読み取る力と、要点を簡潔に表現する力の両面で学びが深まりました。今後は、他の文章にもこの視点を広げていくことで、説明文学習全体の読みの力を高めていきたいと考えています。　次回は「活用」編をお伝えします。